

蜘蛛研究室彙報 (3)

植村 利夫

東京市瀧野川區西ヶ原町 310

信州恵那山麓の蜘蛛

予は昨夏、長野縣の南端恵那山麓にある下伊那郡會地小學校の今村紀人氏より、暑中休暇に同地で兒童が採集した蜘蛛の同定を依頼されたが、それは次の8科16屬20種で、何れも立派な標本ばかりである。因に會地村は海拔580米の高原地帯であるとの事である。此の地方の蜘蛛は今後尙大いに研究の價值ありと思はれる。

- (1) デグモ *Atypus karschi* Doenitz (ちぐも科), (2) ナカムラオニグモ *Araneus cornutus* Clerck (3) イヘオニグモ *Araneus nauticus* (L. Koch) (4) ヤマシロオニグモ *Araneus scylla* (Karsch) (5) オコグモ *Araneus ventricosus* (L. Koch) (6) カラスグモ *Cyclosa atrata* Boesenberg et Strand (7) トリノフングマシ *Cyrtarachne bufo* Boesenberg et Strand (8) シロカネグモ *Leucauge blanda* (L. Koch) (9) トゲグモ *Gasteracantha kuhlii* L. Koch (10) キセキグモ *Ordgarius isekii* Kishida (11) タニマノドヨウグモ *Meta kompirensis* Boesenberg et Strand (12) チョウラウグモ *Nephila clavata* L. Koch (13) アシナガグモ *Tetragnathus praedonia* L. Koch (以上こがねぐも科), (14) オホヒメグモ *Theridion tepidariorum* C. L. Koch (ひめぐも科), (15) コクサグモ *Agelena opulenta* L. Koch (16) *Agelena tubicola* Boesenberg et Strand (以上たなぐも科), (17) カバキコマチグモ *Chiracanthium japonicum* Boesenberg et Strand (ふくろぐも科), (18) ハシリグ

モ *Dolomedes raptor* Boesenberg et Strand (きしだぐも科), (19) ウヅキド
 クグモ *Lycosa T-insignita* Boesenberg et Strand (どくぐも科), (20) ヨシ
 イヘハトリ *Yoshiiyea agoana* Kishida (はへとりぐも科),

Meotipa vesiculosa E. Simon 愛媛縣に産す

愛媛縣温泉郡堀江村の高橋幸雄氏が、1937年8月に同村で採集なされた蜘蛛を同定中、予は圖らずも其の中に *Meotipa vesiculosa* E. Simon, 1894 と云ふ珍しい蜘蛛が含まれてゐることを發見した。*Meotipa* E. Simon, 1894は、ヒメグモ科 Theridiidae ヒシガタグモ亞科 Episineae に屬するもので、現在世界からは僅かに2種だけしか知られてゐなく、何れも熱帯系のものである。即ち其の中の一は *M. vesiculosa* でフィリピンに産し、他は *M. picturata* E. Simon と云ひ、この方は印度より記載されてゐる。この中の一種が新たに日本のハワナに入つたのであるから、特筆大書するだけの價值があると思ふ。

さて *M. vesiculosa* と云ふ蜘蛛は、腹部背面に4個の大きな瘤のあることゝ、歩脚及腹部後端に特異な毛を持つてゐることに依つて、誰にでも一見して識別出来るものである。測定の結果は體長2.5 mmに對して、歩脚は第一11 mm. 第二6.5 mm. 第三4.5 mm. 第四8.5 mm. といふ長さであるから、體の割合に歩脚の極めて細長な蜘蛛であることが解る。各歩脚共腿節は極めて長く附節は比較的短い。

頭胸部の色彩は橙黃色で、眼域は隆起してゐて割合に廣い。8個の單眼は略同大で、直眼だけは褐色、他は全部白色を呈する。中眼域は直眼の約1.5倍を一邊とする方形を呈し、兩列共其の一邊は側眼への距離より稍大きい。兩側眼は相接してゐる。歩脚は概して黃白色であるが、腿節の先端部及脛・膝節の關節附近は褐色を呈してゐて、この部分は他の部分より稍膨大してゐる。第一及第四歩脚は脛節の先端部に數本、腿節下面の先端に近き方に小數、膝節の上面先端部に一本、第二第三步脚は膝節上面の先端部及び脛節の上面中央部に1本の大なる黑色葉狀毛を持つてゐる。

腹部は黃褐色で、背面には銀白色の小斑點を散布し、下面は暗褐色を呈する。背面には4個の大なる瘤があり、前對は後對よりも稍小さい。腹部後端は矢張り瘤狀に隆起し其の部分及下方には多數の歩脚と同様な毛が生えてゐる。腹部下面に於ては紡績突起の部分は背面とは反對に下方に突出で、爲に腹部全體の側面觀は特異な形狀を呈してゐる。

以上の様な特異な腹部の形狀及扁平毛のあることよりして、この蜘蛛を一見した者は必ず深き印象を刻みつけられるものである。

この黑色扁平毛を鏡下に擴大してみる時は、羽狀又は笹の葉狀を呈し、縁邊に細鋸齒があつて平行脈が通つてゐる。蓋しこの毛の用途又は作用に就ては未知であるが、この

蜘蛛の習性を研究すれば、必ずや何等かの暗示が得られるものと思ふ。発見者並に一般同好者の注意を喚起する所以である。

伊 預 高 繩 山 の 蜘蛛

高橋幸雄氏が昭和13年8月25日、伊預高縄山で採集なされた蜘蛛類標本を小生に贈られた。予はそれを拜見した結果次の11科30属46種だけを同定する事が出来た。この他に尙小形なる種で種名未決定のものが一二とザトウムシが數頭含まれてゐるが、それは更に精査の上改めて發表の機會を待つ事にする。こゝに目録を掲載するに當り、同氏に謹んで感謝の意を表する。因に高縄山からは數年前に同氏の手に依つて、熱帯系の珍品マメイタキセキグモ *Ordgarius holsoni* O. P. Cambridge が採集されてゐるし、本目録に出てくるキンダグモモドキ（新稱）は大和より採集された基本標本に次ぐ第二の標本、従つて高縄山は同蜘蛛の第二の産地であると思はれることを附記しておく。

1. ウツグモ科 Fam. Uloboridae

1. *Hyptiotes affinis* Boesenberg et Strand ア フ ギ グ モ
2. *Uloborus sybotides* Boesenberg et Strand カ タ ハ リ ヒ カ ゲ ム

2. ヒメグモ科 Fam. Theridiidae

- | | | |
|-----|--|--------------|
| 3. | <i>Argyrodes fissifrons</i> O. P. Cambridge | ホサフラフグモ |
| 4. | <i>Argyrodes miniaceus</i> (Doleschall) | アカキサフラフグモ |
| 5. | <i>Argyrodes bonadea</i> (Karsch) | シロカネキサフラフグモ |
| 6. | <i>Ariamnes cylindrogaster</i> Simon | ヲナガグモ |
| 7. | <i>Bellinda nipponica</i> Kishida | ヲナガキサフラフグモ |
| 8. | <i>Theridion japonicum</i> Boesenberg et Strand | ヒメグモ |
| 9. | <i>Theridion tepidariorum</i> C. L. Koch | オホヒメグモ |
| 10. | <i>Theridion angulithorax</i> Boesenberg et Strand | ツリガネヒメグモ(新種) |

3. サラグモ科 Fam. Linyphiidae

11. *Linyphia albolimbata* Boesenberg et Strand ヘリジロサラグモ

12. *Linyphia marginata* C. L. Koch サ ラ グ モ

4. センセウグモ科 Fam. Mimetidae

13. *Ero japonica* Boesenberg et Strand センセウグモ

5. コガネグモ科 Fam. Argiopidae

14. *Araneus ventricosus* (L. Koch) オ ニ グ モ
 15. *Araneus scylloides* Boesenberg et Strand サツマノミグマシ
 16. *Araneus ishizawai* Kishida イシサハオニグモ
 17. *Argiope amoena* (L. Koch) コ ガ ネ グ モ
 18. *Argiope bruennichi* (Scopoli) ナガコガネグモ
 19. *Argiope minuta* Karsch コガタコガネグモ
 20. *Cyclosa atrata* Boesenberg et Strand カ ラ ス グ モ
 21. *Cyclosa sedeculata* Karsch ヨツデゴミグモ
 22. *Chrysaster typia* Kishida キ ラ ラ グ モ
 23. *Cyclosa octotuberculata* Karsch ゴ ミ グ モ
 24. *Cyrtarachne bufo* (Boesenberg et Strand) トリノフンダマシ
 25. *Leucuzea blanda* (L. Koch) シ ロ カ ネ グ モ
 26. *Meta doenitzi* Boesenberg et Strand ド ヨ ウ グ モ
 27. *Meta yunohamensis* Boesenberg et Strand ユノハマドヨウグモ
 28. *Nephila clavata* L. Koch デ ヨ ラ ウ グ モ
 29. *Tetragnatha japonica* Boesenberg et Strand ヤサガタアシナグモ
 30. *Tetragnatha praedonia* L. Koch アシナグモ

6. キシダグモ科 Fam. Pisauridae

31. *Tetragonophthalma fascigera* Boesenberg et Strand キシダグモモドキ
 (新稱)

7. ドクグモ科 Fam. Lycosidae

32. *Lycosa laura* Karsch ハリゲドクグモ

33. *Lycosa procurva* (Boesenberg et Strand) チビドクグモ
 34. *Lycosa sepia* (Doenitz et Strand) シケデドクグモ

8. タナグモ科 Fam. Agelenidae

35. *Agelena limbata* Thorell クサグモ
 36. *Agelena opulenta* L. Koch コクサグモ
 37. *Tegenaria corasides* Boesenberg et Strand カキネグモ

9. カニグモ科 Fam. Thomisidae

38. *Synaema globosa japonica* Karsch フノジグモ
 39. *Thomisus albus* (Gmelin) シロアヅチグモ
 40. *Tibellus tenellus* (L. Koch) シヤコグモ
 41. *Nysticus insulicola* Boesenberg et Strand アヅマカニグモ

10. ハヘトリグモ科 Fam. Attidae

42. *Harmochirus brachiatus* Thorell ウデブトハヘトリ
 43. *Hasarius doenitzi* Karsch デーニッツハヘトリ
 44. *Hyllus lamperti* Boesenberg et Strand ランペルトハヘトリ
 45. *Myrmarachne innermichelis* Boesenberg et Strand クロアリグモ

11. フクログモ科 Fam. Clubionidae

46. *Micaria claripes* Doenitz et Strand ツヤグモ

廣島縣巖島の蜘蛛

昨年10月御令弟祝君の戦傷歸還を出迎へに廣島まで西下せられた學友藤田衛君が、其の序に巖島神社に参拜し、同島で採集せられた蜘蛛を著者に送られた。依つてそれを同定した結果ここに6科10属13種の目録を掲げて、同君に感謝の意を表する次第である。

(1) オホヒメグモ *Theridion tepidariorum* C. L. Koch (2) カレハヒメグモ *Teutana transversifoveata* Boesenberg et Strand (3) シロカネキサフラグモ *Argyrodes bonadea* (Karsch) (4) フタヲキサフラグモ *Argyrodes fur* Boesenberg et Strand (以上ひめぐも科). (5) トウキヤウウツグモ *Uloborus tokyoensis* Kishida (6) オホウツグモ *Uloborus varians* Boesenberg et Strand (以上うづぐも科), (7) イヘユウレイグモ

Pholcus phalangioides Fuesly (ゆうれいぐも科), (8) ヤマシロオニグモ *Araneus scylla* (Karsch) (9) コガネグモ *Argiope amoena* (L. Koch), (10) ゴミグモ *Cyclosa octotuberculata* Karsch (以上こがねぐも科), (11) カキネグモ *Tegenaria corasides* Boesenberg et Strand (たなぐも科), (12) ハヘトリグモ *Menemerus confusus* Boesenberg et Strand (はへとりぐも科), (13) ヨツデゴミグモ *Cyclosa sedeculata* Karsch

滋賀縣の蜘蛛

予は昨年、藤野みえ女史採集の滋賀縣産蜘蛛類を同定したが、それは次の5科8属11種であつた。採集せられた季節も地方名も忘却してしまつたが、滋賀縣の蜘蛛はまだあまり發表せられてゐないやうであるから、メモに記されてあつた名稱をここに掲げておく次第である。

(1) イヘオニグモ *Araneus nauticus* Clerck (2) ヤマシロオニグモ *Araneus scylla* (Karsch), (3) ムツボシオニグモ *Araneus westringi* (Thorell), (4) サツマノミダマシ *Araneus scylloides* Boesenberg et Strand (5) ナガコガネグモ *Argiope bruennichi* (Scopoli) (6) カラスグモ *Cyclosa atrata* Boesenberg et Strand (7) ドヨウグモ *Meta doenitzii* Boesenberg et Strand (以上こがねぐも科), (8) トウキヤウウツグモ *Uloborus tokyoensis* Kishida (うづぐも科), (9) カバキコマチグモ *Chiracanthium japonicum* Boesenberg et Strand (ふくろぐも科), (10) アハセグモ *Selenops bursarius* Karsch (あはせぐも科), (11) ミスデハヘトリ *Plexippus setipes* Karsch (はへとりぐも科)

ARANEUS ABSCISSA と A. DROMEDARIA

昭和12 (1937) 年4月12日、當時東京女高師生徒藤野みえ氏が同校々庭に於て採集のオニグモ1頭を予に贈られた。予は一見してこの蜘蛛は Boesenberg の *Die Spinnen Deutschland* の f. 10 の圖に大變よく似てゐる事を思ひ出し、早速調べてみたが、これは *Araneus dromedaria* Walckenaer と云ふ蜘蛛で、圖も記載も全く一致してゐる事を確めた。尙普通のオニグモ類は大抵5月以後主として7月の前後に成熟するものであるが、この蜘蛛は4月の上旬であるのに立派に成熟してゐるし、Boesenberg も又 *A. dromedaria* は4月に成熟することを特に明記してゐる。尙其の他色彩・斑紋・測定の結果まで驚くべき一致を示してゐるので、予は紛ふ方なく藤野氏採集の蜘蛛は *A. dromedaria* であると確信してゐた。而る所、その後ふと氣がついて日本から記載されてゐる蜘蛛

蛛にこれによく似たキザハシオニグモ *A. abscissa* (Karsch) のある事を思ひ出し、すぐに又調べ直してみたが、女高師の蜘蛛はこれの記載にも殆ど一致するものである事を知った。而しどちらかと云へば Boesenberg の記載や圖の方がよく一致することは確かである。*A. abscissa* は前に長野縣の標本を小松敏宏氏よりいただいて持つてゐたので、それと女高師のとを較べてみると、體長・斑紋・色彩等に多小の相異はあるが、やはり同種である事には間違ひがなかつた。斯様な次第で予は一時藤野氏採集の蜘蛛を *A. dromedaria* と同定したのであつたが、斯かる境地に立つた場合にはやはり *A. abscissa* としておく方が無難であると思はれるので、そう變更する事に次定した。以上の結果に依つて予は今も尙 *A. abscissa* と *A. dromedaria* は同種ではないかと云ふ疑を深く抱いてゐる。もし同種でなくとも両者は極めてよく似た種である事は確實である。因に Hermann Wiehle に依れば *A. dromedaria* は *A. bituberculata* Walk. であり、*A. albo-arcuata*, *E. furcata*, *E. bicornis* も皆異名であると云ふ。

相馬神社の蜘蛛

松本理三郎氏は昭和 12 (1937) 年 1 月 7 日相馬中村町の相馬神社にて採集の蜘蛛を筆者に提供せられたが、それは次の 9 属 9 種であつた。こゝに種名を掲げて同氏に感謝の意を表する次第である。

1. ミヤグモ *Ariadna lateralis* (Karsch)
2. ヒラタグモ *Uroctea compactilis* L. Koch
3. コカニグモ *Coriachue furvipes* (Karsch)
4. キハダカニグモ *Xysticus japonicus* (Simon)
5. セスヂフクログモ *Clubionaia* sp.
6. シモフリタナグモ *Tegenaria corasides* Boesenberg et Strand
7. ネコハヘトリ *Evophrys nipponicus* Kishida
8. ウヅキドクグモ *Lycosa T-insignata* Boesenberg et Strand

ツリガネヒメグモ (新稱)

予は本誌 Vol. I. No. 2 に、九州地方に棲んでゐるツリガネグモの住居製作に就て發表しておいたが、これと同様な住居を造る小形なヒメグモが、各地、殊に東京市内に多く棲んでゐる。予は調査の結果、これは *Theridion angulihorax* Boesenberg et Strand に他ならぬことを知つた。依つて今回この蜘蛛にツリガネヒメグモの新稱を附し、詳細は改めて發表する豫定である。